

特集：卒業

生物学類を巣立つ皆さんへ

濱 健夫（筑波大学 生命環境学群生物学類長）

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本日の学位授与式におきまして、生物学類卒業生84名に学位記をお渡しすることができました。この中には2名の3年間の早期卒業生や、G30学際主専攻の初めての卒業生2名も含まれています。学位記を授与された皆さん、そしてご父兄の皆さんに、教職員を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

さて、皆さん、この大学の4年間の大学生活は充実したものであったでしょうか。4年前の入学の際には、まだ高校生の面影を残す皆さんでしたが、大学への不安とともに大きな希望をもって入学してきたものと思います。その大学生活への希望はかなえることができましたでしょうか。十分満足できる方もいらっしゃるかもしれませんが、まだまだ何かで来たのでは無いか、と思う方もいらっしゃるかも知れません。しかし、皆さんはこの筑波大学での在学中に、つくばという土地との出会い、友人や師など人との出会い、心を動かす書物との出会い、昼夜打ち込める研究との出会いなど、…いくつもの出会いに導かれて、大きく成長されたことは間違いない事だと思います。

今年の卒業生の方は62名の方が大学院に進まれ、また22名の方が就職等で社会へと巣立って行かれます。筑波大学の大学院に進学される方は引き続き同じ環境での研究が続き、大学生から大学院生への区切りもつきにくい場合も多いと思います。ただ、大学院で研究を進めるにあたり、自分の研究課題について、一度広い視野からとらえ直して欲しいと思います。俯瞰的な目で研究分野をとらえることにより、皆さんの研究課題の重要性を再認識することがひつようであり、それが、皆さんの研究の深さにつながるものと思います。

他大学の大学院に進まれる方、就職で社会へ出られる方は、4月からは新しい環境のもとで、新たな研究や仕事が始まることになります。そこでは、20年余を通して皆さんが築いてきたあなたの価値観や、これまで重要だと考えてきたことが否定され、精神的にも辛いことがあるかもしれません。でも、その中で、悩み、苦しむことは、皆さんの新たな進歩につながり、皆さんの新しい価値観を生み出すことになるでしょう。それは、変わらない安定した環境で時間を過ごすことでは生み出すことのできない貴重なものだと思います。新たな世界を恐れることなく、若者らしく飛び込んで行って下さい。

我々は現在、生物多様性や地球温暖化の問題などこの数十年にわたり直面してきたグローバルな問題、そして、最近では3年前の東日本大震災に起因する放射能の問題等に直面しています。これらの課題は、今後収束の方向に向かうのかどうかも明確では無く、現在、これらに対してどのように問題を解決し、将来に対して道筋を示すことができるかが、問われています。例えば、地球温暖化や海洋酸性化など我々人類による二酸化炭素の放出が

原因となる現象の、この10年、50年、100年に渡る未来予測においては、幾つかのシナリオが用意されています。今世紀末の予測値を見ると、シナリオによって非常に大きな違いがあり、中には目をおおいたくなる状況も認められます。我々社会が、我々人類が、我々生物が、そして我々地球システムが100年後にどのシナリオの予測結果に至るのかを考えると、この10年、20年の変化が100年後の運命を決めると言っても過言ではありません。また、将来のシナリオを、意志を持って帰ることができるのは、我々人類のみです。是非、皆さんの若い力の努力によって、我々社会、人類、生物圏、そして地球システムの変化を良い方向へ導いて下さい。

本年度は、G30の学生を初めて卒業生として送り出すことができました。

We are very pleased to graduate two G30 students from our college; this is the first and memorial graduation ceremony for our college as well as our university. We began the G30 program from 2010, and you entered to the new program as the first students. In this program, we planned to educate the foreign students by English classes only. Since you are the first students, you have been studied at the top position of this program so you have been making the history of G30 program in our college, our university and our country. Your challenging split for study in the new educational program in the foreign country greatly encouraged us to improve this program. At present time, more than 20 students are learning and following you in our college.

I've heard that one of you will stay in Japan and one will go back to the mother country to further study. I hope you will make good use of your experience in Japan and will contribute to carve out the future of your country. We are looking forward for your success. Congratulation on your graduation.

最後に、心と体を健康に保つことはこれからの皆さんの活動の基本となります。心と体の健康に気を配ることを忘れずに過ごして下さい。

以上、新たな世界に旅立たれる皆さんへの祝辞と致します。おめでとうございます。

Contributed by Takeo Hama, Received April 2, 2014.